

4月号第10巻第2号2021年3月10日発売 奇数月10日発売

# Blue.

SURFSIDE STYLE MAGAZINE

4 2021 April  
No.87

## Surfer's BODY

日々の努力は、からだで語れ







## Julie Goldstein

ジュリー・ゴールドスタイン

### 聖域で育まれるアーティストの創造性

地元ニュージャージーで小さなサーフショップをもち、自身もアーティストとして活動していたジュリーが、サンディエゴのノースカウンティに移住したのは2009年のこと。以来サンディエゴ内で数回引っ越しているが、ガレージはいつもジュリーのクリエイション・スペースだった。そこは、海をテーマにウッドブロックのプリントを作ったり、ファブリックを縫いあわせたり、染色したりといった作業場であり聖域。日本のしぼり染めや刺し子に興味をもったのをきっかけに日本の海女の文化にも触発され、海女の版画作品もシリーズにした。自分のブランドSwim With Meも、日本のウエットスーツとのデザインコラボも、つねにガレージで発想し、そこから発展させていった。

1\_お気に入りのマンダラのカスタムボードやイエーターのログなどのクイバー、ウエットスーツが並ぶガレージの一角が、ジュリーの作業スペース。一児のママとしては、空いた時間に創作に取りかかれるのがありがたい。この日はウッドブロックに色を塗り木版画を作った。2\_風がなく天気の良い日は、刷った版画をバックヤードに干すのにちょうど良い。版木から紙をはがす瞬間が一番ワクワクする。3\_サーファーでありオーシャンスイマーでもあるジュリーは、これまで海と関わる女性たちをテーマに作品づくりをしてきた。日本の海女の文化からインスピレーションを得た作品シリーズも多数手がけている。4\_彼女の作品には、藍染のデニム生地や刺し子など日本からの影響が色濃い。またファッションやジャーナルづくりを大学で教えていて、ルックブックとなるジャーナルも数多く作っている。5\_アートワークをするデスクにはSwim With Meのロゴのサンプルなどがあつた

